

9. 継続的改善

当組合は、取り扱う個人情報について、適正な内部監査を実施するなどして、本保護方針の継続的な改善に努めます。

□内部監査体制

当JAでは、内部監査部門を被監査部門から独立し、事業の発展に寄与することを目的として設置し、経営全般にわたる管理・運営及び各部門の業務の遂行状況を、内部管理態勢等の適切性と有効性の観点から検証・評価し、結果に基づく情報や改善・合理化への助言・提案等を通じて業務運営の適切性の維持・改善に努めています。

また、内部監査は、JAの全ての事業所を対象とし、内部監査計画に基づき実施しています。監査結果は被監査部門及び事務指導部署に通知し、定期的に被監査部門の改善取組状況をフォローアップしています。また、監査結果の概要は定期的に理事会に報告しています。

なお、特に重要な事項については、直ちに組合長、監事に報告し、速やかに適切な措置を講じています。

7. 自己資本の状況

□自己資本比率の状況

当JAでは、多様化するリスクに対応するとともに、組合員や利用者のニーズに応えるため、財務基盤の強化を経営の重要課題として取り組んでいます。内部留保に努めるとともに、不良債権処理及び業務の効率化等に取り組んだ結果、平成30年3月末における自己資本比率は、15.55%となりました。

□経営の健全性の確保と自己資本の充実

当JAの自己資本は、組合員の普通出資によっています。

普通出資による資本調達額

項目	内容
発行主体	福山市農業協同組合
資本調達手段の種類	普通出資
コア資本に係る基礎項目に算入した額	5,798百万円（前年度 5,757百万円）

当JAは、「自己資本比率算出要領」を制定し、適正なプロセスにより正確な自己資本比率を算出して、当JAが抱える信用リスクやオペレーショナル・リスクの管理及びこれらのリスクに対応した十分な自己資本の維持を図るとともに、内部留保の積み増しにより自己資本の充実に努めています。

また、平成19年度から、信用リスク、オペレーショナル・リスク、金利リスクなどの各種リスクを個別の方法で質的又は量的に評価し、リスクを総体的に捉え、自己資本と比較・対照し、自己資本充実度を評価することにより、経営の健全性維持・強化を図っています。